

歴代会長

初代 佐藤 健太郎 (昭和25年～昭和40年)
 二代 田中 重一 (昭和40年～昭和57年)
 三代 佐久間 鐘太郎 (昭和57年～平成 4年)

四代 吉澤 良二 (平成 4年～平成12年)
 五代 吉成 武男 (平成12年～現会長)

この地域の特徴

中野区の南部に位置し、中野通りと方南通りが交わる南台交差点の南西部一体が当町会地域です。南台商店街を中心とした商業地域と、地域一帯に広がる新旧住宅群、また、多田小学校と都立中野特別支援学校があることで、主要通学路では朝夕に生徒たちの元気な賑々しい声が響き渡ります。

町会のあゆみ

『多田』名称の由来は、当町会が氏神である多田神社を囲む地域であるということによって命名されました。終戦直後、この地域に住む闊達な若者達が集い、同地域の平安と発展を願って青年会を結成。その後、組織は多田町電灯会に継承、昭和25年4月に現在の多田町会に改組されました。以降、相次ぐ宅地等の造成で会員数が増え、現在まで発展してきました。力を合わせて地域の平安と発展を願う自治の心は、先輩方から継承され、今もなお脈々と受け継がれています。また、この地域住民の愛着心は先人の時代より殊のほか篤く、年間行事や会務運営、また最近では地域見守り支え合い事業等も、会員同士が積極的に協力し合って順調に運営されています。会員の集会所には、町会結成当初は軍部払下げ材で事務所を建設(多田町58番地)し、珠算教室としても当時の子供たちの教育に活用されてきました。そして、昭和54年に地域の有志により現在の活動拠点となる多田会館が竣工し、町会の諸会合、各種行事、敬老会等の活動など、様々な用途で多くの会員が活用しています。

町会活動

近年は「災害に強い町づくり」を最重要課題として、「安心できる町づくり」、「環境にやさしい町づくり」をコンセプトに日々活動しています。

現在の主な町会活動には、

- ・ **防災防犯部活動** 地域防災訓練、防災備蓄倉庫の備品類の定期点検と増備等、毎月の役員会前と各行事前の全役員による町会パトロール、歳末夜警
- ・ **防火部活動** 軽可搬ポンプ操法(バケツリレー)大会出場及び訓練
- ・ **民生部活動** 地域の見守り支えあい活動(警察・消防・ガス会社連携)
- ・ **子供会、婦人会活動** かっぱまつり、夢ひろば運営、木工教室、夏休みラジオ体操、他
- ・ **長生活動** 敬老祝い事業、各種会合等
- ・ **地域一斉清掃、リサイクル事業の普及啓蒙活動**

また、夏の多田神社例大祭では、全役員による神酒所運営や子供神輿・山車の練り歩き等を毎年盛大に開催しています。この行事は、町会員相互のより深い交流と、地域の輪(和)の広がりにつながっています。

これからの町会活動

生活の多様化が年々進んでいく中、地域のコア(核)となる町会活動も、時代に合った組織へと常に進化していかなければと考えます。住みやすい生活地域維持の活動の場として、また、発災時には速やかに共助体制がとれる組織として、どの時代でも会員一人ひとりが団結できる町会づくりを目指して今後も事業展開して参りますので、皆さまどうぞよろしく願いいたします。

